



2025年3月期 第2四半期決算説明会



2024年11月8日
スズキ株式会社

当社は2025年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたしました。
そのため、本ページ以降は前期・当期ともにIFRSに基づき作成しております。

2025年3月期 第2四半期決算

- ・ 為替影響に加え、各部門における収益改善努力により増収増益
- ・ 特に国内四輪事業の価格改定やモデルミックス改善が貢献
- ・ 個の力を高め、稼ぐ力を上げていく収益改善対策の効果が表れはじめている

2025年3月期 通期業績予想

- ・ 上期実績 および 経営環境の変化を反映し、前回予想から上方修正
- ・ 売上収益 5兆6,000億円、営業利益5,500億円を見込む
- ・ 成長戦略実現に向けた研究開発費や固定費等の増加をカバーできるよう引き続き、稼ぐ力を上げていく

- ・通期業績予想を上方修正したことに伴い、中間配当は前回予想から2円の上方修正
- ・新中期経営計画では株主還元方針を含め資本政策を発表予定

■ 配当

- ・中間配当 1株当たり20円（前期※から+6.25円の増配、前回予想から+2円の上方修正）
- ・年間配当 1株当たり40円（前期※から+ 9.5円の増配、前回予想から+4円の上方修正）
- ・配当性向22.0%

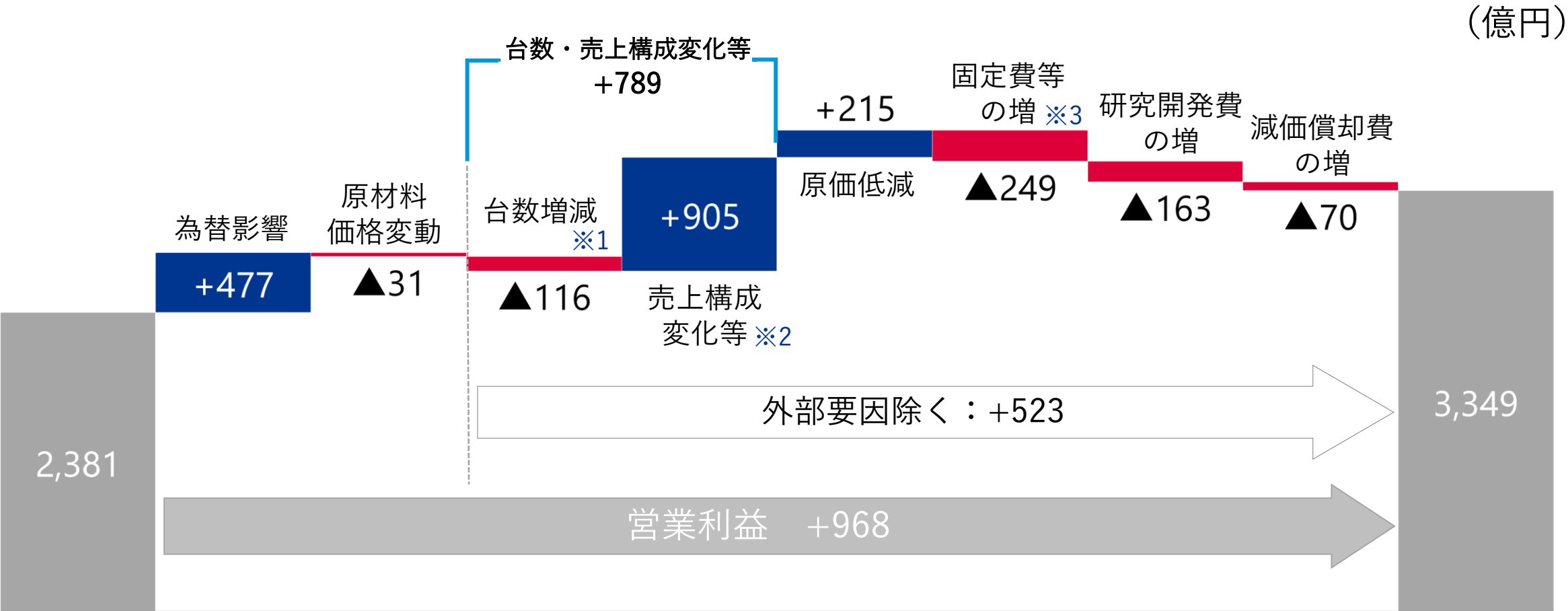
※当社は2024年4月1日を効力発生日として、1株につき4株の割合にて株式分割を実施

- ・前期の中間配当は 55円、株式分割(4分割)後の換算では13.75円
- ・前期の年間配当は122円、株式分割(4分割)後の換算では30.5円

サマリー	2
株主還元	3
2025年3月期第2四半期決算	5～13
総括	5
営業利益増減要因	6
事業別業績、営業利益増益要因	7
四輪・二輪台数実績	8～13
通期業績予想	14～19
総括	14
営業利益増減要因	15～17
四輪・二輪台数情報	18～19
補足資料	20～29

(億円)		当第2四半期 (‘24/4-9)	前年同期 (‘23/4-9)	増 減	増減率	補足※1
連結 業績	売上収益	28,550	25,561	+ 2,989	+ 11.7%	4期連続増収
	営業利益 (利益率)	3,349 (11.7%)	2,381 (9.3%)	+ 968	+ 40.7%	4期連続増益
	税引前利益 (利益率)	3,765 (13.2%)	2,881 (11.3%)	+ 883	+ 30.7%	4期連続増益
	中間利益※2 (利益率)	2,175 (7.6%)	1,511 (5.9%)	+ 663	+ 43.9%	4期連続増益
為替 レート	米ドル	153円	141円	+ 12円	+ 8.3%	
	ユーロ	166円	153円	+ 13円	+ 8.2%	
	インドルピー	1.84円	1.72円	+ 0.12円	+ 7.0%	
世界 販売	四輪車	1,566千台	1,535千台	+ 30千台	+ 2.0%	日本、パキスタン、欧州等で増加
	二輪車	1,022千台	958千台	+ 64千台	+ 6.7%	インド、中南米等で増加

※1 補足のコメントは第2四半期累計としての評価
2 中間利益は親会社の所有者に帰属する中間利益



前年同期
'23/4-9

※1 台数増減影響 主な内訳
・ 当社単独 ▲124億円
・ マルチスズキ +29億円

※2 売上構成変化等 主な内訳
・ 当社単独 +433億円
・ マルチスズキ ▲ 36億円

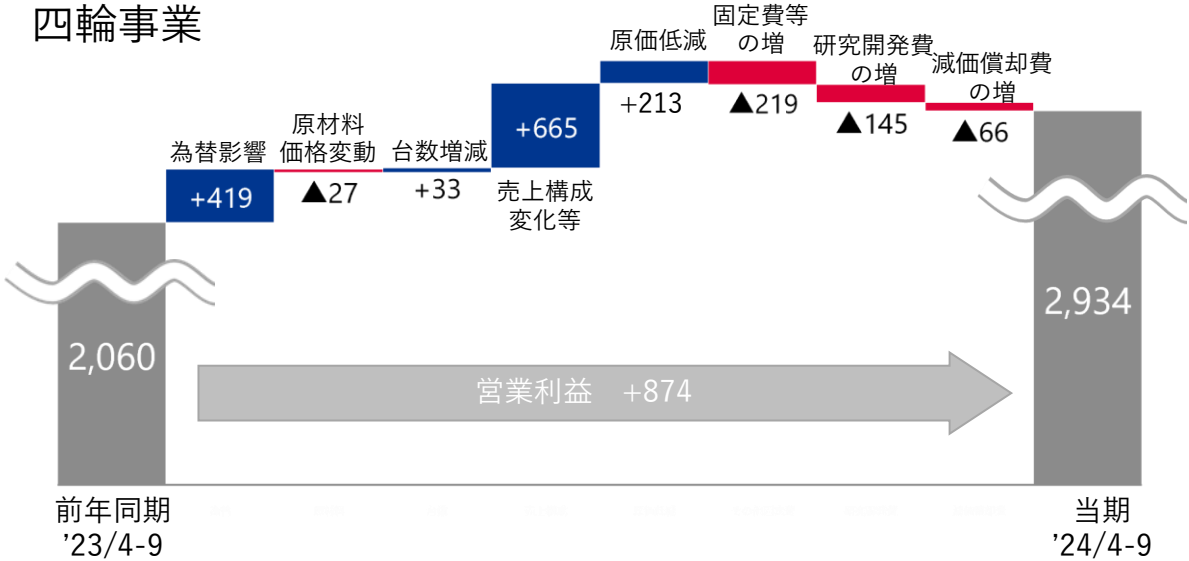
※3 固定費等の増 主な内訳
・ 労務費 ▲ 119億円
・ 品質関連費用 ▲66億円
・ 営業政策費 ▲42億円

当期
'24/4-9

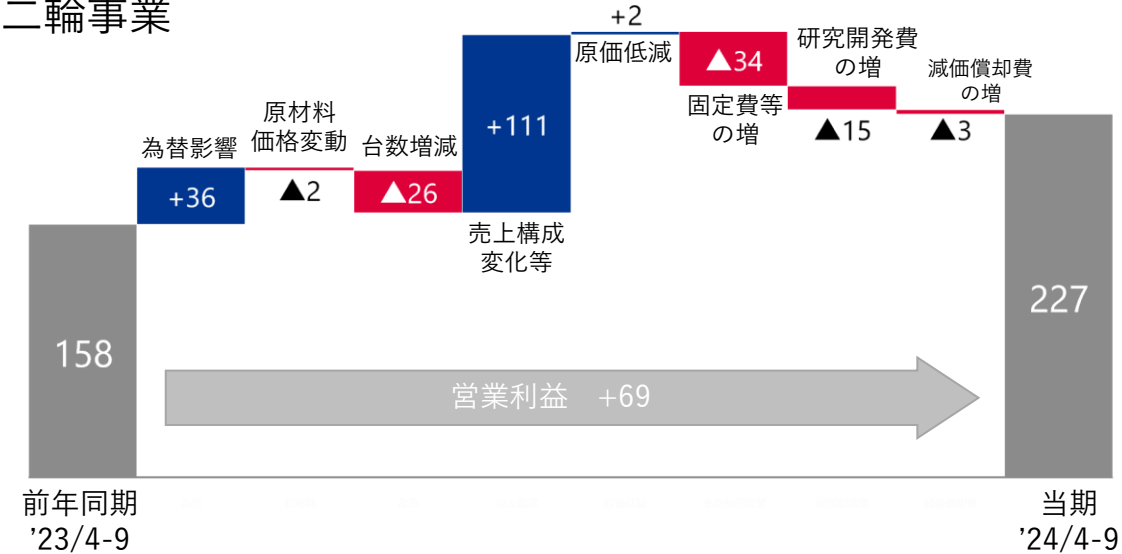
単位：億円

	'24/4-9					'24/7-9				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比		前年比	利益率
四 輪	25,945	+12%	2,934	+42%	11.3%	12,745	+4%	1,570	+27%	12.3%
二 輪	1,983	+11%	227	+44%	11.4%	935	+1%	106	+8%	11.3%
マリン	566	▲7%	170	+16%	30.1%	265	▲4%	89	+65%	33.8%
その他	55	+1%	18	+15%	33.2%	28	▲6%	9	+5%	32.5%
連結 計	28,550	+12%	3,349	+41%	11.7%	13,974	+3%	1,774	+27%	12.7%

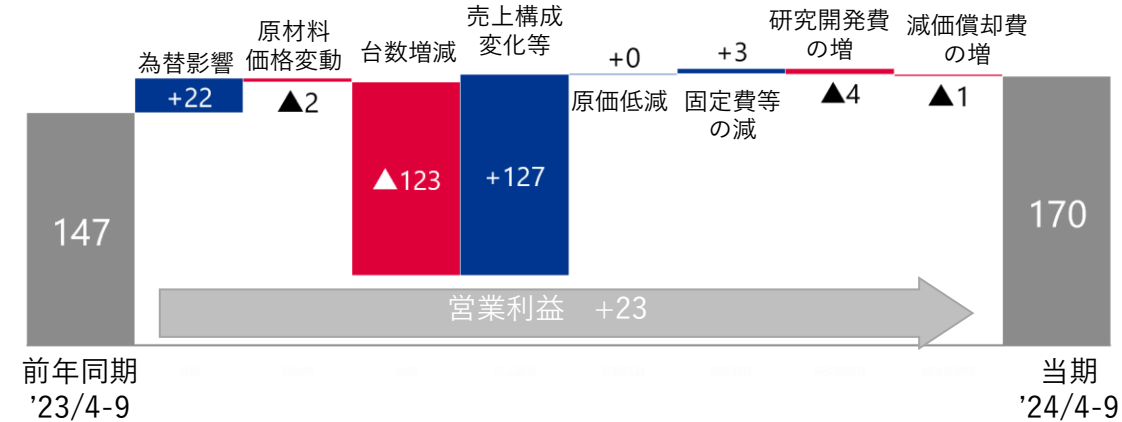
四輪事業

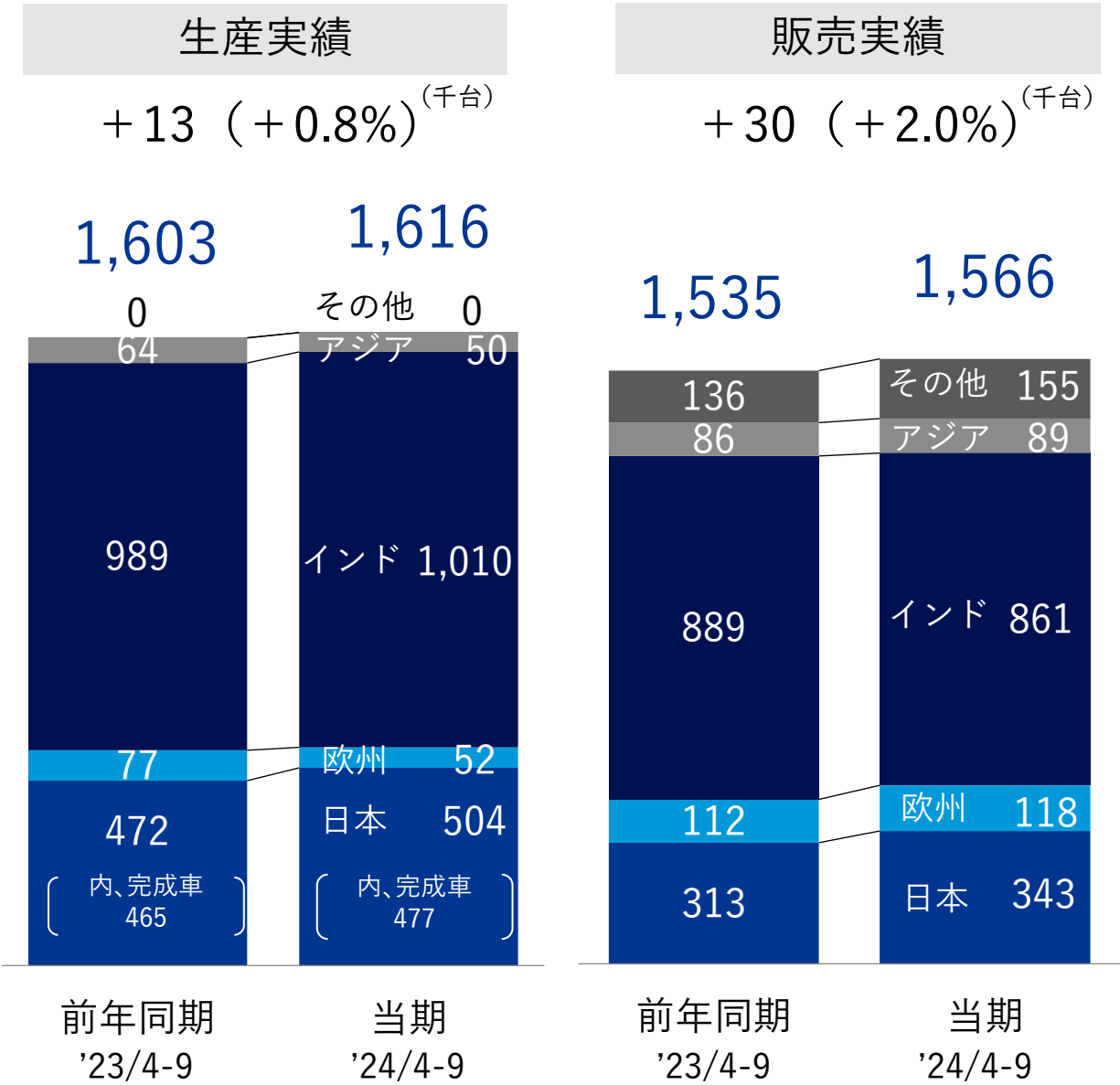


二輪事業



マリン事業



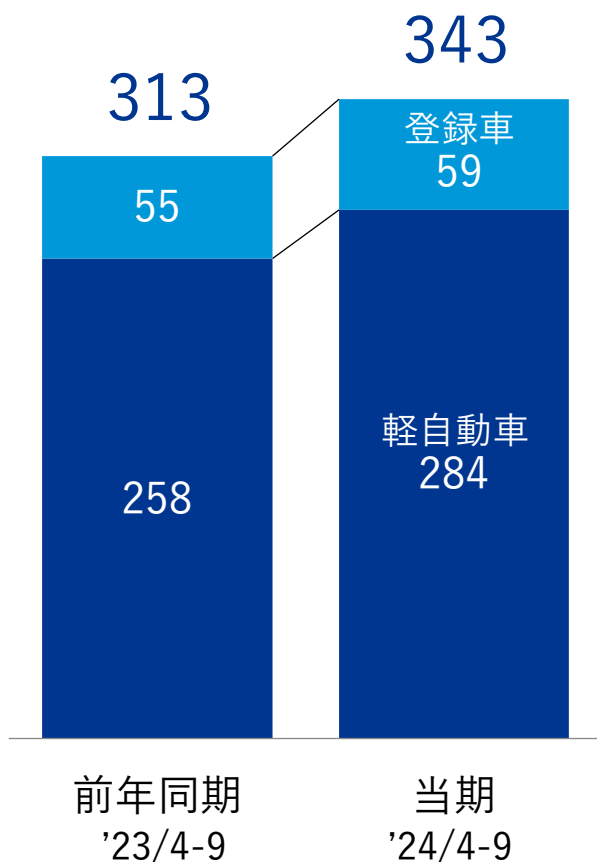


(千台)

	台数	前年同期比	
世界販売	1,566	+30	+2.0%
日本	343	+30	+9.7%
欧州	118	+5	+4.8%
インド	861	▲28	▲3.1%
アジア (除インド)	89	+3	+3.2%
パキスタン	32	+14	+74.1%
インドネシア	32	▲6	▲16.1%
タイ	3	▲4	▲55.8%
その他	155	+19	+14.3%
中南米	60	+7	+13.9%
アフリカ	50	+1	+1.7%
中近東	31	+10	+49.6%
大洋州	14	+1	+7.8%

販売実績

+ 30 (+ 9.7%)^(千台)



● 当期の国内販売

- ・ 安定した生産と、新車効果により販売台数が増加
- ・ 新型スペーシアギアの販売が好調



国内販売台数推移 (千台)



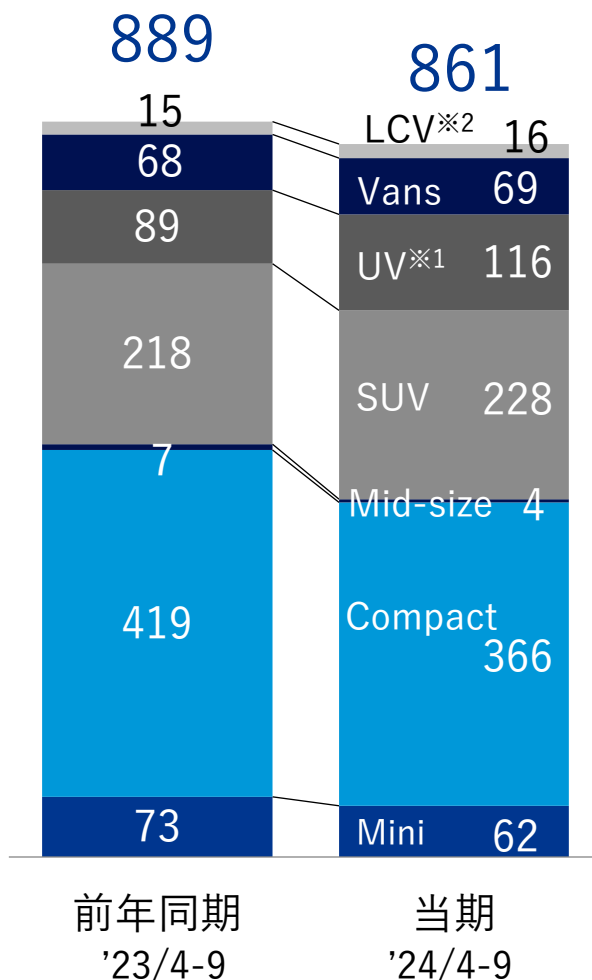
● 新型「フロンクス」発売

- ・ 10月16日、新型「フロンクス」を発売
- ・ 受注は好調 (1万台を突破)



販売実績

▲28 (▲3.1%)^(千台)



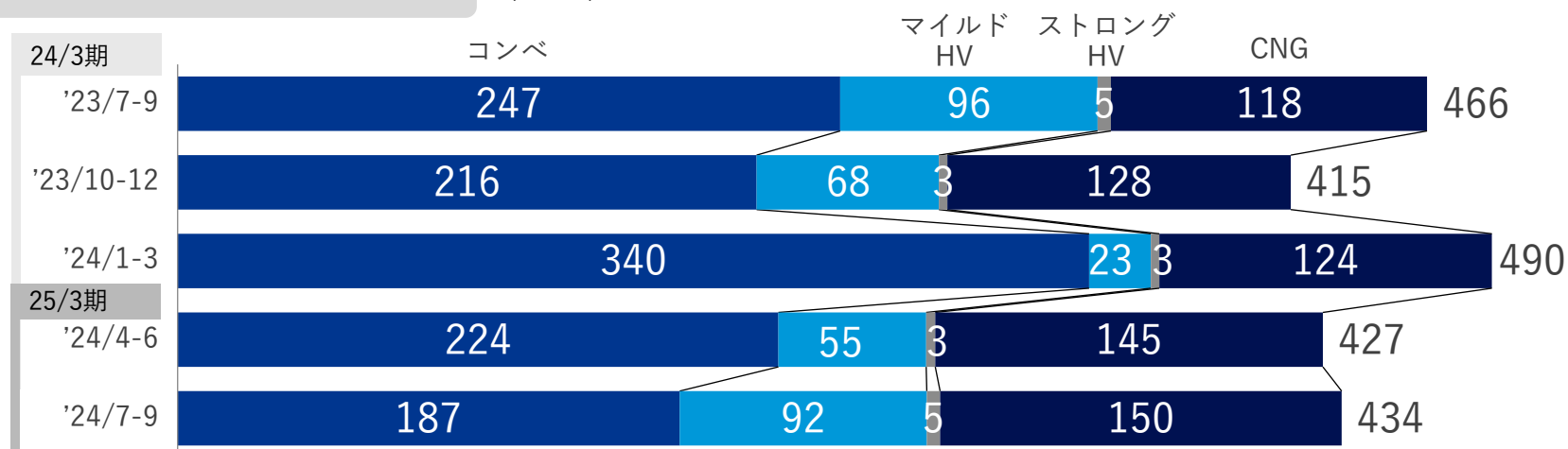
● 販売状況

- ・ 小型車の販売が期初想定を下回ったため、生産調整を実施
現在、在庫は適正水準
- ・ ディワリ期の販売は前年比で約1割増

● マルチパスウェイの取り組み

- ・ CNG車、HEVなど多様な選択肢を提供
- ・ 新型スイフトのCNGモデルを発売開始

パワートレイン別販売台数 (千台)



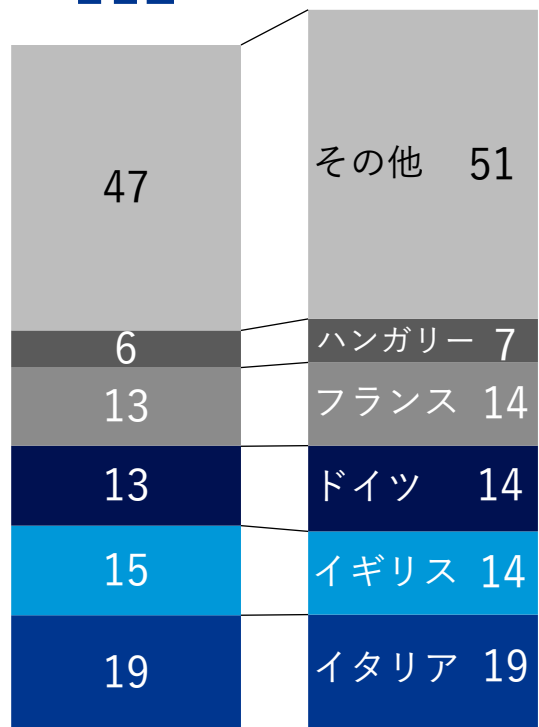
注. 左側グラフは商用車(LCV)を含む卸販売実績、OEMは除く

※1 UV=Utility Vehicles (Ertiga等) ※2 LCV=Light Commercial Vehicles

欧州

+ 5 (+ 4.8%) (千台)

112 118



前年同期

当期

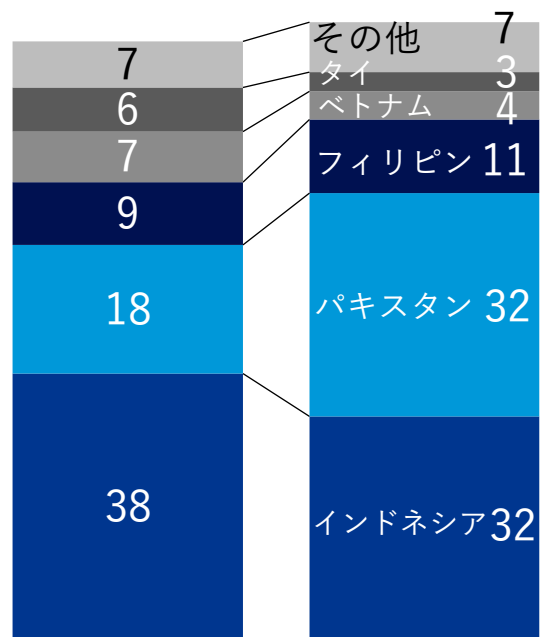
'23/4-9

'24/4-9

アジア（インド除く）

+ 3 (+ 3.2%) (千台)

86 89



前年同期

当期

'23/4-9

'24/4-9

● トピックス

◆ 欧州

- ・ スイフトの販売が引き続き堅調

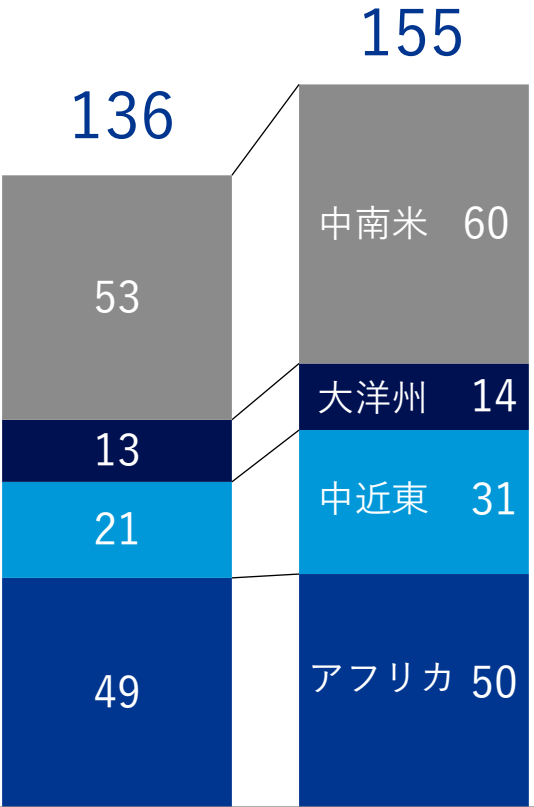


◆ パキスタン

- ・ 豊作による個人需要が引き続き堅調
(前年同期比 +74.1%)
- ・ 10月14日に日本の軽商用車「エブリイ」を投入

販売実績

+19 (+14.3%)^(千台)



前年同期
'23/4-9

当期
'24/4-9

トピックス

- ・ 中近東や中南米等で販売台数が増加
- ・ 南アフリカはシェア11.5%に伸長
- ・ メキシコでは昨年度の落ち込みから回復
新型スイフトの販売が好調

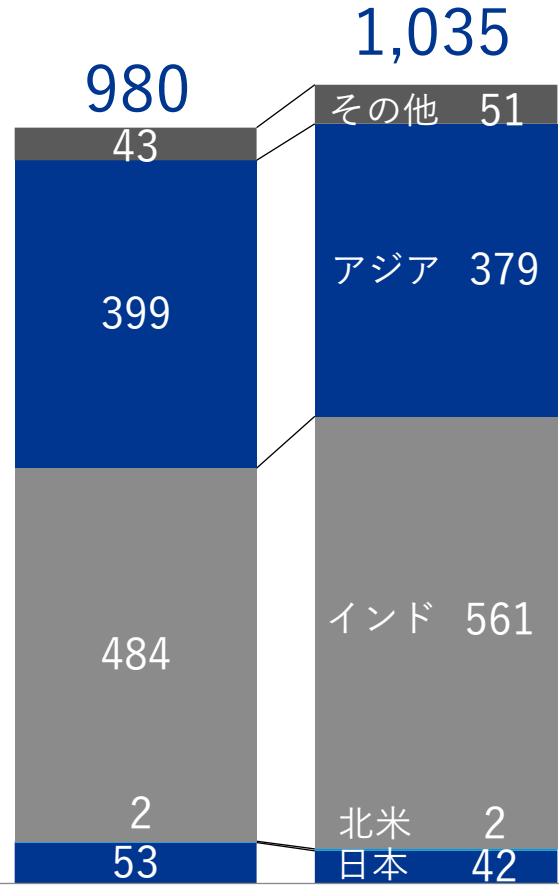
当期の販売

(千台)

	台数	前年同期比	
アフリカ	50	+1	+1.7%
南アフリカ	28	+3	+14.0%
中近東	31	+10	+49.6%
サウジアラビア	18	+8	+75.1%
大洋州	14	+1	+7.8%
中南米	60	+7	+13.9%
メキシコ	21	+4	+19.9%
チリ	10	+2	+17.8%

生産実績

+56 (+5.7%) (千台)

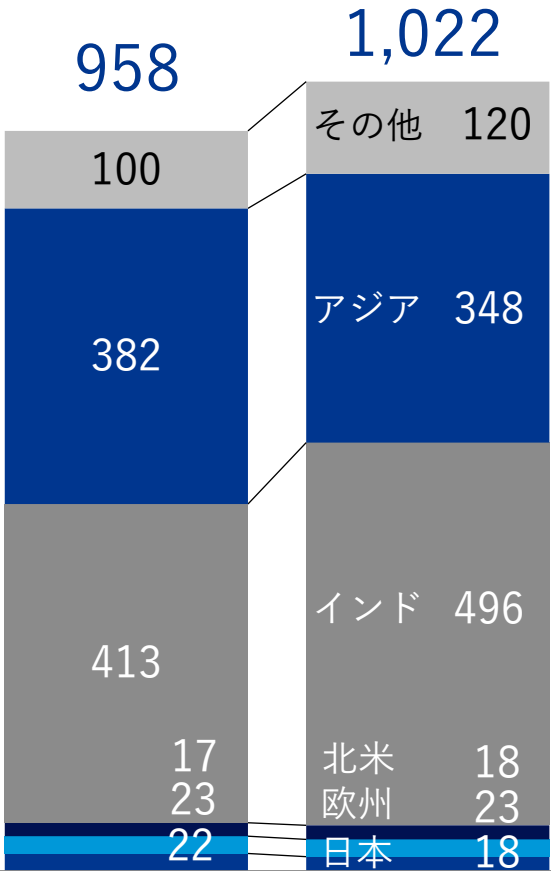


前年同期
'23/4-9

当期
'24/4-9

販売実績

+64 (+6.7%) (千台)



前年同期
'23/4-9

当期
'24/4-9

● インドの販売状況

- ・ 当期の販売は496千台(前年同期比 +20.1%)と増加
- ・ AccessやV-Strom250SXの販売好調による

● 国内でユーザーミーティングを実施

- ・ 9月8日開催 KATANAミーティング
- ・ 10月20日開催 GSX-S/Rミーティング (初開催)
- ・ GSX-S/Rミーティングでは、ユーザーミーティングとして初めて浜松工場見学を実施、見学者1,005人が参加
- ・ スズキファンづくりと共に、顧客満足度向上に取り組んでいる



通期業績予想 | 総括



(億円)		当期 ('24/4-'25/3)	前期 ('23/4-'24/3)	増 減		補足	前回予想との比較	
					増減率		前回予想	増減
連結 業績	売上収益	56,000	53,575	+ 2,425	+ 4.5%	4期連続増収	56,000	—
	営業利益 (利益率)	5,500 (9.8%)	4,938 (9.2%)	+ 562	+ 11.4%	3期連続増益	4,800 (8.6%)	+ 700
	税引前利益 (利益率)	6,200 (11.1%)	5,917 (11.0%)	+ 283	+ 4.8%	5期連続増益	5,500 (9.8%)	+ 700
	当期利益 ^{※1} (利益率)	3,500 (6.3%)	3,170 (5.9%)	+ 330	+ 10.4%	5期連続増益	3,100 (5.5%)	+ 400
為替 レート	米ドル	146円	145円	+ 1円	+1.0%		145円	+ 1円
	ユーロ	160円	157円	+ 3円	+2.1%		157円	+ 3円
	インドルピー	1.76円	1.76円	—	—		1.75円	+ 0.01円
世界 販売	四輪車	3,244千台	3,168千台	+ 76千台	+ 2.4%		3,254千台	▲9千台
	二輪車	2,008千台	1,915千台	+ 93千台	+ 4.9%		1,892千台	+ 116千台
配当	1株当たり 年間配当	40円	30.5円 ^{※2}	+ 9.5円			36円	+ 4円

※1 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

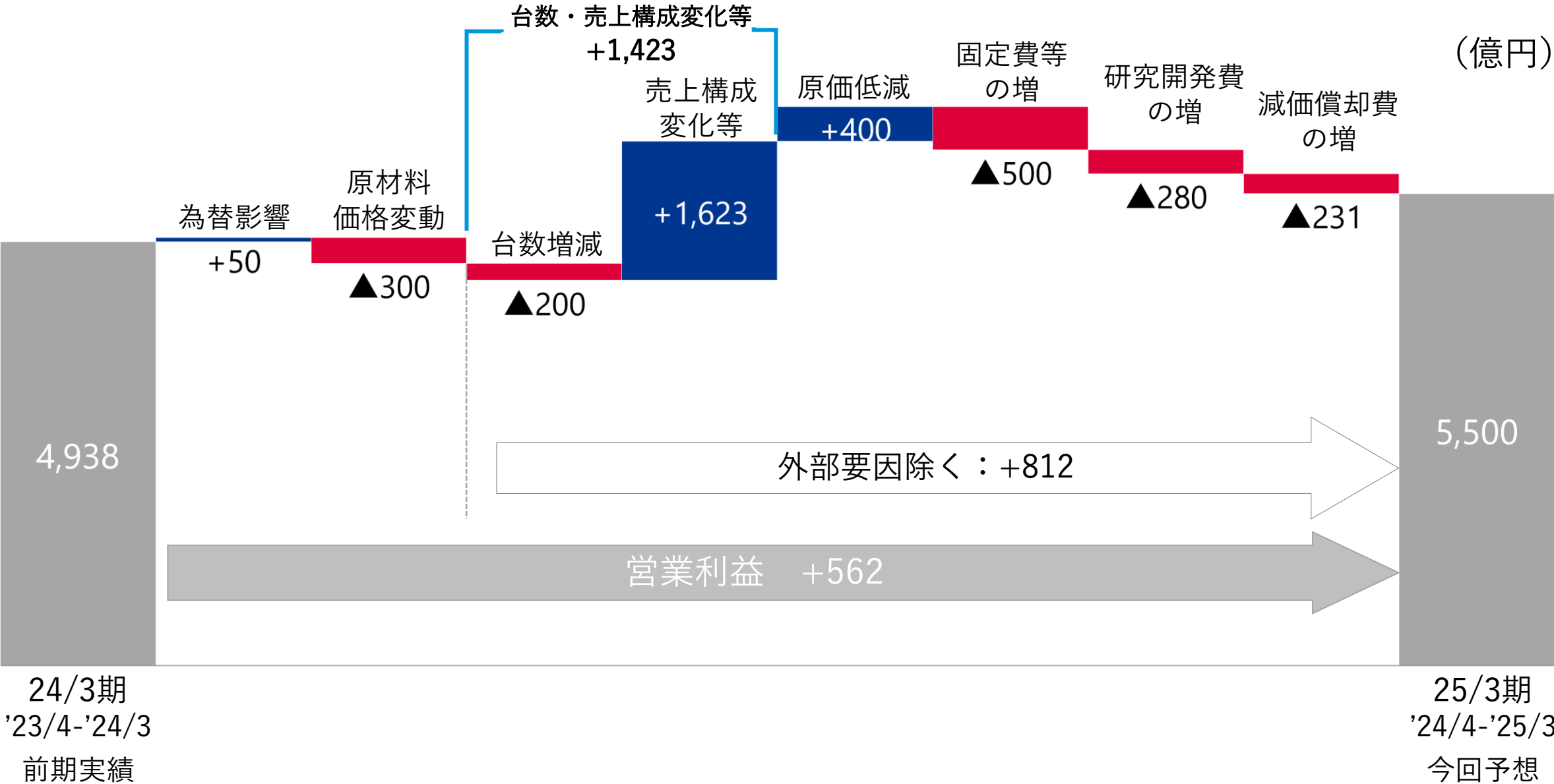
※2 前期の年間配当は122円、株式分割(4分割)後に換算すると30.5円

© Suzuki Motor Corporation, 2024. All rights reserved.

14 / 19

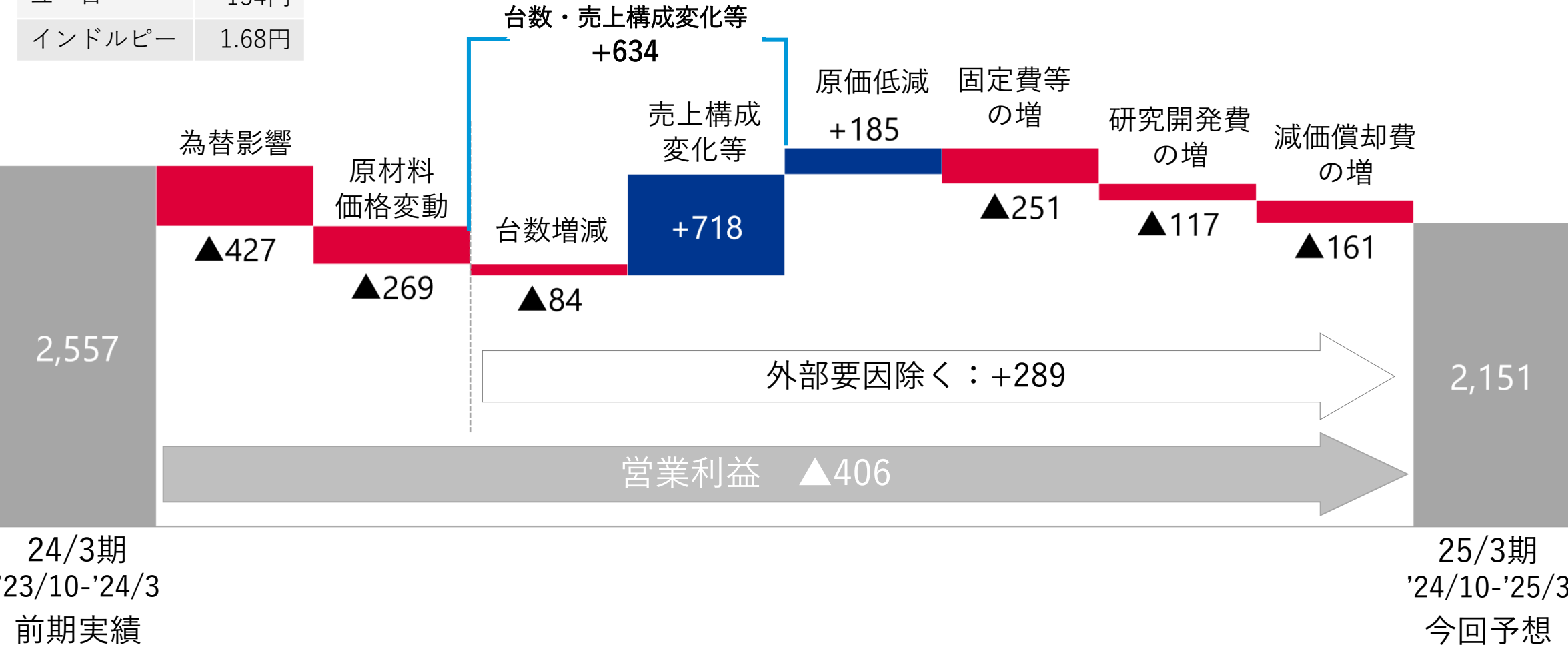


通期業績予想 | 営業利益増減要因・対 24/3期実績



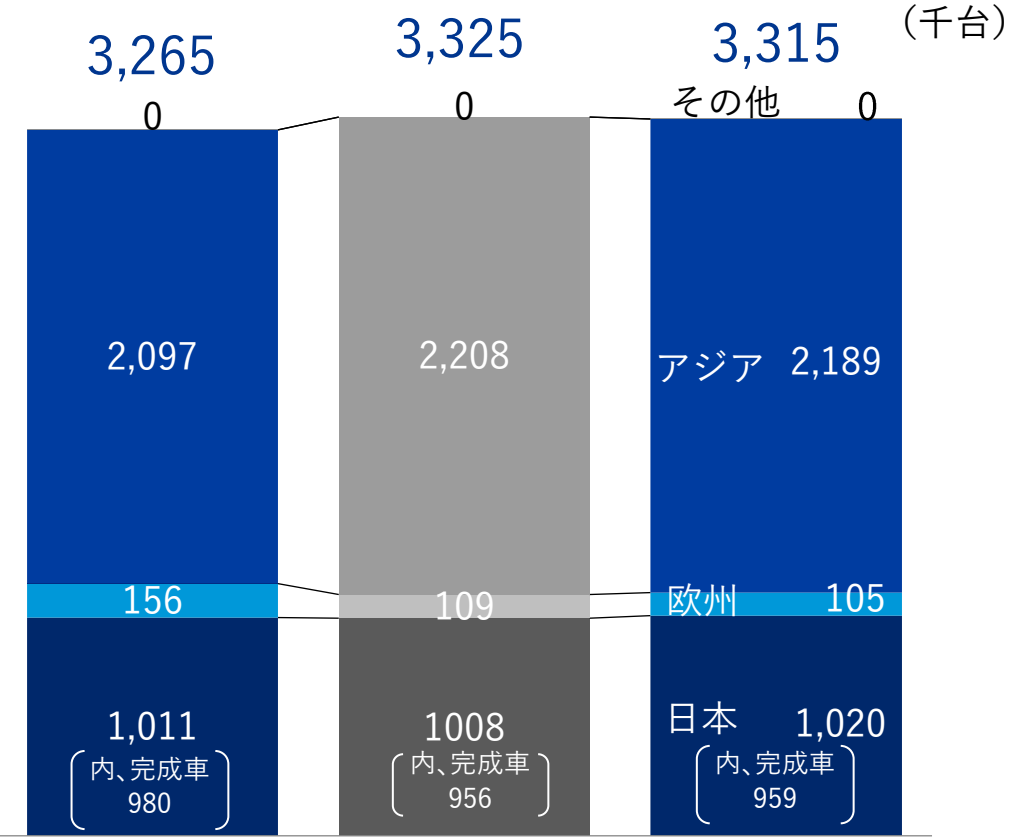
(億円)

下期前提レート	
USドル	140円
ユーロ	154円
インドルピー	1.68円



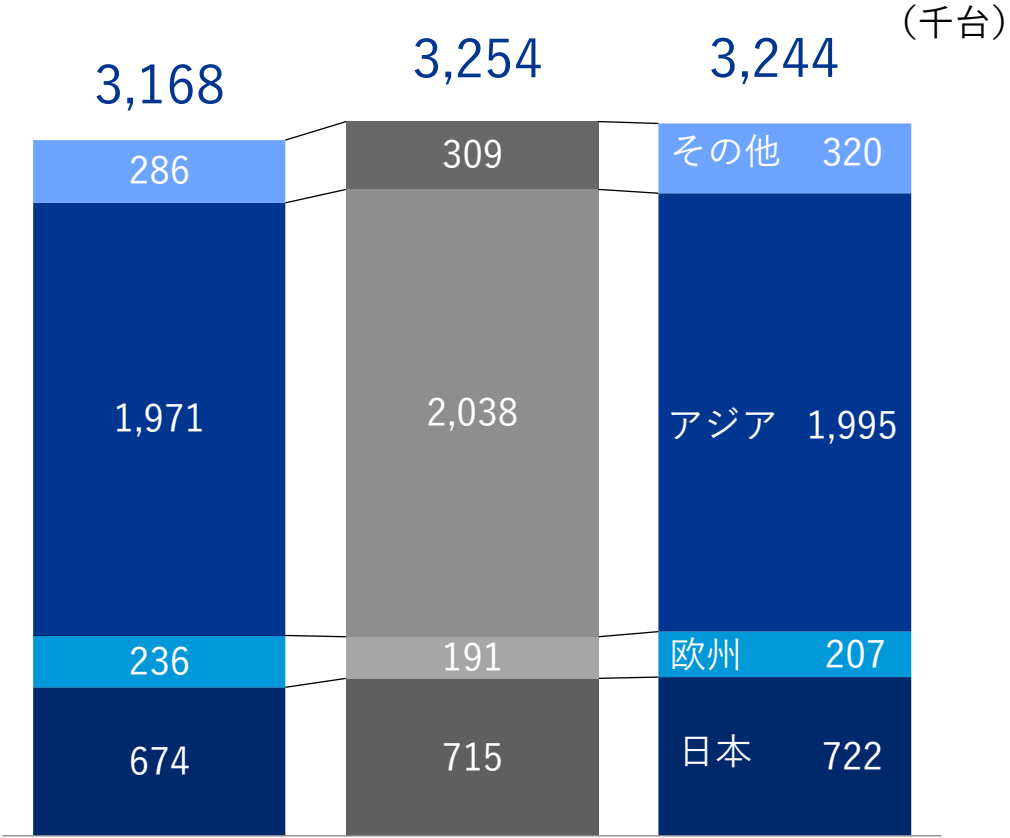
生産台数

3,315千台 前期比 +49千台 (+1.5%)
前回予想比 ▲10千台 (▲0.3%)



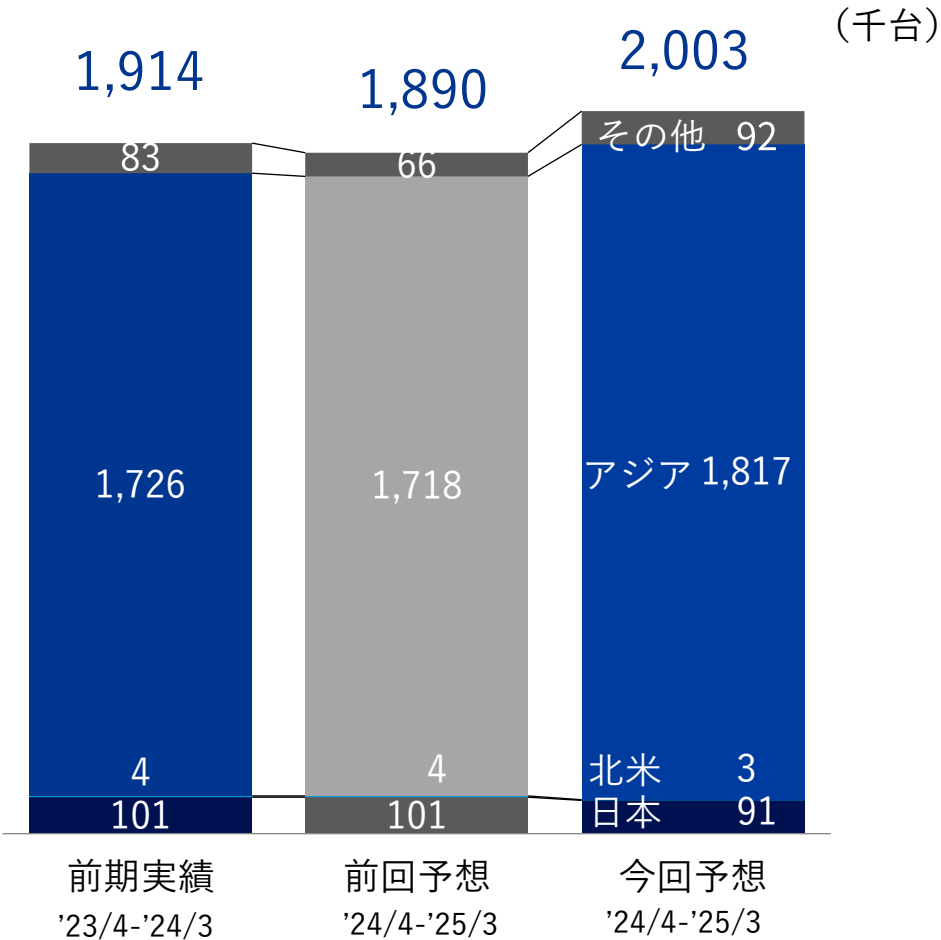
販売台数

3,244千台 前期比 +76千台 (+2.4%)
前回予想比 ▲9千台 (▲0.3%)



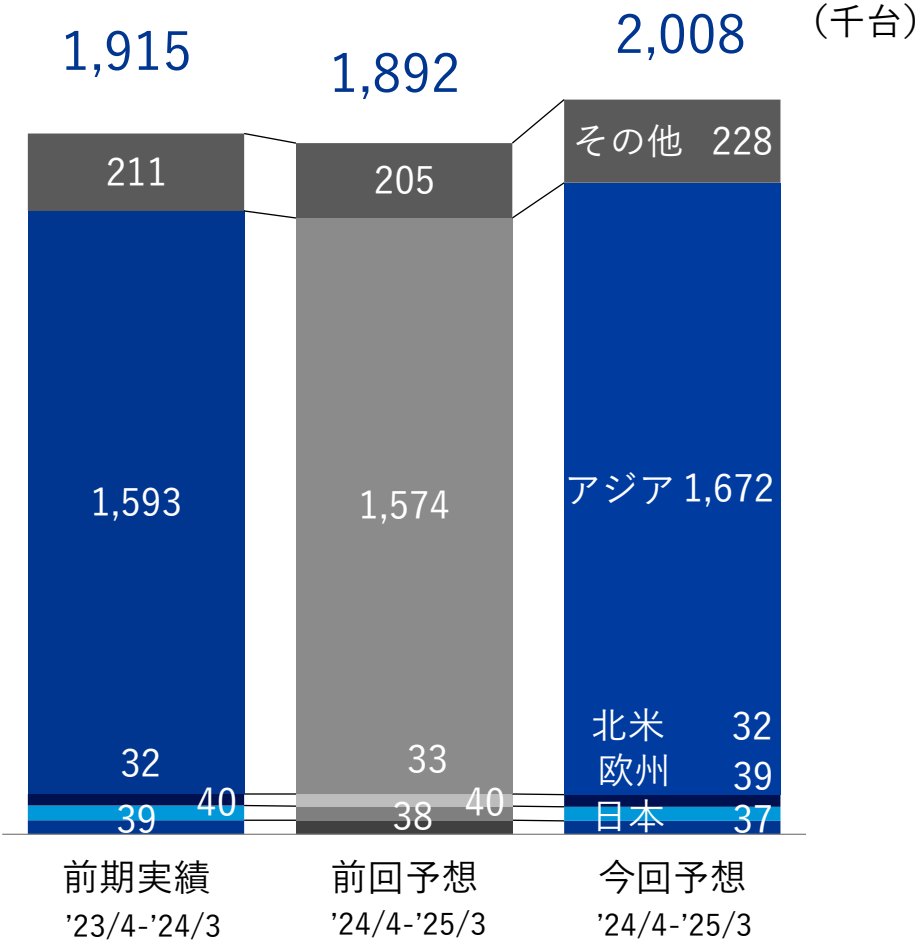
生産台数

2,003千台
前期比 +90千台 (+4.7%)
前回予想比 +113千台 (+6.0%)



販売台数

2,008千台
前期比 +93千台 (+4.9%)
前回予想比 +116千台 (+6.2%)



補足資料

2025年3月期 第2四半期決算 | 売上収益の状況



(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合 計			増減内訳	
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	為替影響	台数増減
国内計	6,966	5,940	+1,026	91	110	▲20	17	19	▲2	55	55	+1	7,129	6,124	+1,005		+368
自 社	6,398	5,445	+952	91	110	▲20	17	19	▲2	55	55	+1	6,561	5,629	+931		
O E M	568	495	+74										568	495	+74		
海外計	18,979	17,169	+1,810	1,893	1,676	+216	549	591	▲42				21,421	19,437	+1,984	+1,426	▲13
欧 州	3,063	2,866	+197	241	247	▲6	94	99	▲6				3,397	3,212	+185	+274	▲135
北 米	2	3	▲1	203	222	▲20	288	323	▲36				492	548	▲56	+37	▲48
アジア	12,802	11,604	+1,198	1,062	895	+167	65	68	▲2				13,930	12,567	+1,363	+885	+127
インド	11,261	10,235	+1,026	714	569	+145	6	4	+2				11,981	10,807	+1,173	+781	+57
〃以外	1,542	1,370	+172	348	326	+22	59	64	▲5				1,949	1,760	+189	+104	+73
その他	3,112	2,696	+416	387	312	+74	103	101	+2				3,601	3,109	+492	+230	+43
総合計	25,945	23,109	+2,836	1,983	1,787	+196	566	610	▲44	55	55	+1	28,550	25,561	+2,989	+1,426	+355
内、為替換算影響			+1,264				+126			+36						+1,426	

注. 当期…2024年4～9月期、前期…2023年4～9月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

2025年3月期 第2四半期決算 | 所在地別業績、営業利益増減要因

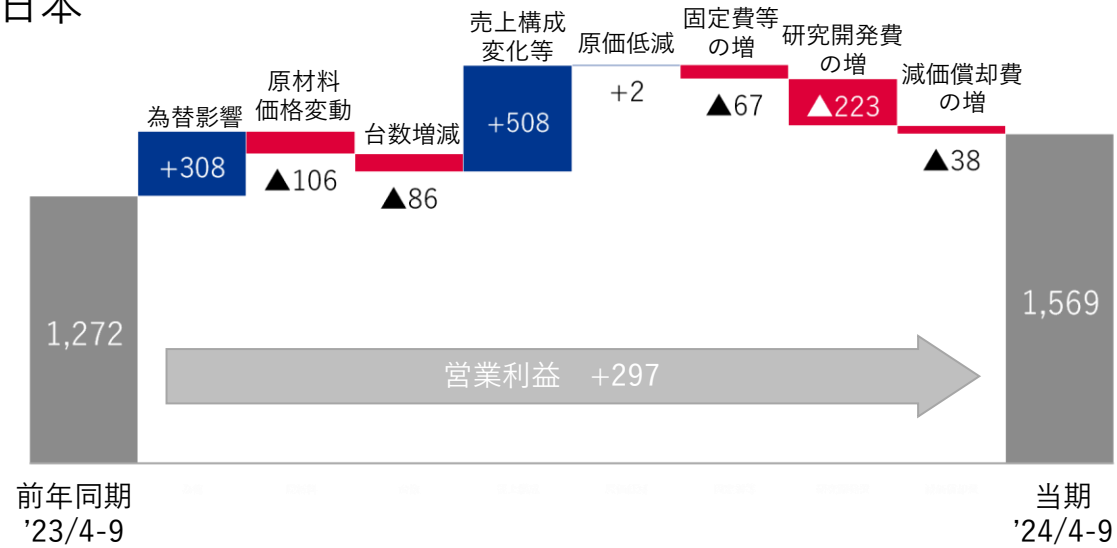


所在地セグメント別業績

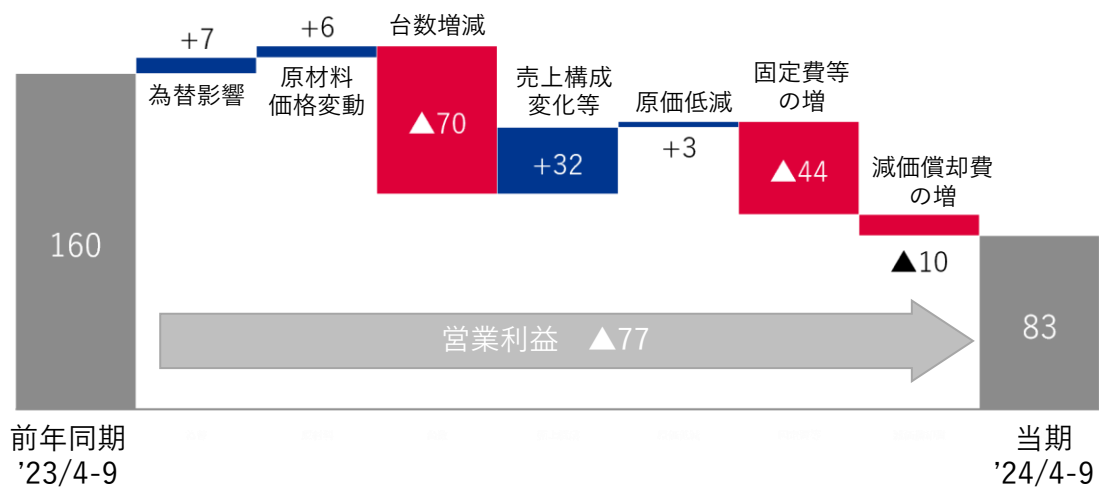
単位：億円

	'24/4-9					'24/7-9				
	売上収益		営業利益			売上収益		営業利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比		前年比	利益率
日 本	14,354	+7%	1,569	+23%	10.9%	7,154	+3%	718	+12%	10.0%
欧 州	4,219	▲4%	83	▲48%	2.0%	1,953	▲15%	27	▲60%	1.4%
アジア	15,764	+11%	1,534	+21%	9.7%	7,892	+3%	797	▲5%	10.1%
その他	2,264	+15%	61	▲18%	2.7%	1,103	+13%	31	+53%	2.8%
セグメント間 消去	▲8,050	—	103	—	—	▲4,157	—	201	—	—
連結計	28,550	+12%	3,349	+41%	11.7%	13,945	+3%	1,774	+27%	12.7%

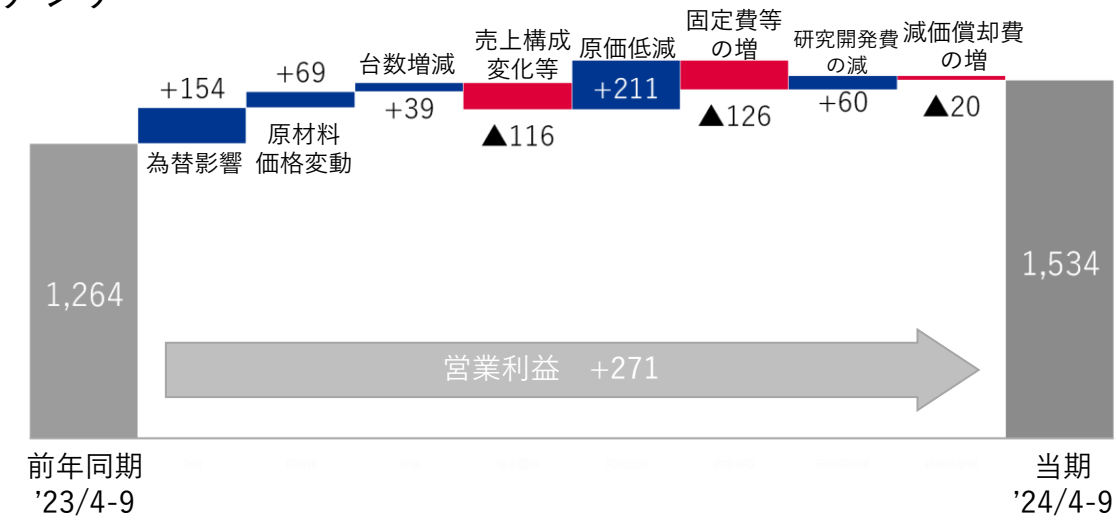
日本



欧州



アジア



		ルピー建（億ルピー）※1			円換算額（億円）		
		当第2四半期	前年同期※4	増減	当第2四半期	前年同期	増減
連結業績	売上収益	6,946	6,639	+ 308	12,781	11,418	+ 1,363
	営業利益※2 （利益率）	746 (10.7%)	618 (9.3%)	+ 129	1,373 (10.7%)	1,062 (9.3%)	+ 311
	税引前利益 （利益率）	998 (14.4%)	816 (12.3%)	+ 182	1,836 (14.4%)	1,404 (12.3%)	+ 432
	税引後利益 （利益率）	686 (9.9%)	633 (9.5%)	+ 53	1,263 (9.9%)	1,089 (9.5%)	+ 174
	為替レート	1.84円	1.72円	+ 0.12円			
卸販売	国内販売※3	915千台	918千台	▲2千台			
	輸出※3	148千台	133千台	+ 16千台			
	合計	1,063千台	1,050千台	+ 13千台			

※1 ルピー建は、10月29日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

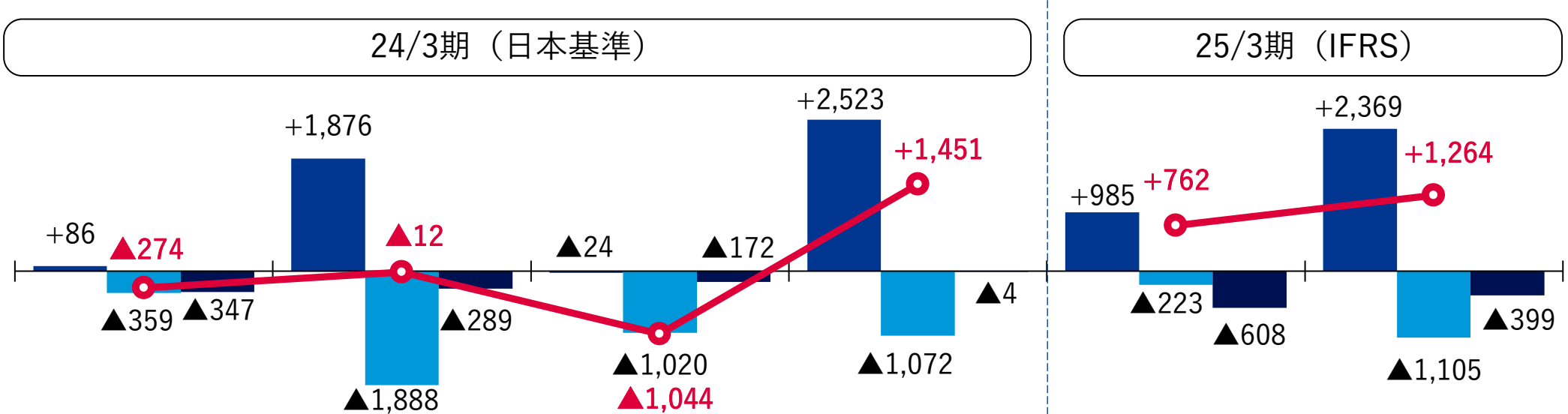
※2 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sales of product + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs

※3 国内販売および輸出はO E Mを含む

※4 前年同期の業績値は、当期との比較のため、前期期初よりSMGを連結した前提で再計算した数値

注. マルチ・スズキ・インディア社は I n d A S （インド版 I F R S）に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値

営業活動CF 投資活動CF 財務活動CF フリーCF (億円)



	24/3期 (日本基準)				25/3期 (IFRS)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
フリーCF	▲274	▲12	▲1,044	+1,451	+762	+1,264
財務CF	▲347	▲289	▲172	▲4	▲608	▲399
(内、配当金支払額※1)	(▲245)	(▲203)	(▲268)	(▲2)	(▲324)	(▲301)
為替影響	+299	+31	▲128	+203	+198	▲313
キャッシュ増減	▲322	▲270	▲1,344	+1,650	+352	+552
キャッシュ残高	8,499	8,230	6,886	8,536	8,752	9,304
ネットキャッシュ	859	558	▲904	675	1,027	1,732
(月商比※2)	(0.2ヵ月)	(0.1ヵ月)	(▲0.2ヵ月)	(0.2ヵ月)	(0.2ヵ月)	(0.4ヵ月)

※1 非支配株主への配当金の支払額を含む。 ※2 月商比は、各期の通期売上高の平均月商をもとに算出

	当期 ('24/4-9)	前年同期 ('23/4-9)	増 減
設備投資	1,682億円	1,322億円	+ 360億円
当社単独	425億円	299億円	+ 126億円
子会社	1,256億円	1,023億円	+ 234億円
(内、インド)	(965億円)	(756億円)	(+209億円)
減価償却費	946億円	876億円	+ 70億円
研究開発費	1,235億円	1,072億円	+ 163億円

※ インド：マルチ・スズキ社（グジャラートを含む）、SMIPL社、TDSG社、SRDI社、Sデジタル 5 社の合計
※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含まない
※ 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

	第2四半期末 ('24/9末)	前年同期末 ('23/9末)	増 減	前期末 ('24/3末)	増 減
有利子負債残高	7,571億円	7,669億円	▲97億円	7,859億円	▲288億円
連結子会社数	119社	118社	+1社	119社	± 0社
持分法適用関連会社数	33社	31社	+2社	31社	+2社
従業員数	74,373人	72,444人	+1,929人	72,372人	+2,001人

※ リース負債は上記の実績に含まない

2025年3月期 第2四半期決算 | 為替レートと為替影響額



	当期 ('24/4-9)	前年同期 ('23/4-9)	前年同期比 増減		営業利益 為替影響	
					感応度※2	影響額
インドルピー	1.84円	1.72円	+ 0.12円	+7.0%	+ 22億円	+ 155億円
ユーロ	166円	153円	+ 13円	+8.2%	+ 13億円	+ 103億円
米ドル	153円	141円	+ 12円	+8.3%	+ 7億円	+ 56億円
南アフリカランド	8.35円	7.56円	+ 0.79円	+10.4%	+ 3億円	+ 33億円
オーストラリアドル	101円	93円	+ 8円	+8.8%	+ 3億円	+ 29億円
パキスタンルピー	0.55円	0.49円	+ 0.06円	+12.2%	+ 2億円	+ 24億円
メキシコペソ	8.49円	8.13円	+ 0.36円	+4.4%	+ 5億円	+ 20億円
ポンド	196円	178円	+ 18円	+10.1%	+ 2億円	+ 19億円
その他※1	—	—	—	—	+ 7億円	+ 38億円
営業利益為替影響額 合計					+ 62億円	+ 477億円

※1 その他…影響額+38億円のうち、ポーランドズロチ+18億円、ニュージーランドドル+5億円 ほか

※2 感応度…各通貨のレートが前年同期のレートから 1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

通期業績予想 | 為替レート



	通期予想			前期実績	前期実績比		営業利益 為替影響	
		今回 下期前提	前回 通期予想		増減		感応度 ※2	影響額
ユーロ	160円	154円	157円	157円	+ 3円	+2.1%	+24億円	+51億円
南アフリカランド	8.09円	7.82円	7.70円	7.72円	+ 0.37円	+4.8%	+6億円	+30億円
ポーランドズロチ	38円	37円	36円	35円	+ 3円	+7.1%	+3億円	+19億円
米ドル	146円	140円	145円	145円	+ 1円	+1.0%	+14億円	+18億円
パキスタンルピー	0.53円	0.51円	0.52円	0.51円	+ 0.02円	+3.9%	+4億円	+15億円
オーストラリアドル	98円	94円	95円	95円	+ 2.60円	+2.7%	+5億円	+14億円
ポンド	189円	183円	184円	182円	+ 7円	+4.0%	+3億円	+13億円
インドルピー	1.76円	1.68円	1.75円	1.76円	± 0円	-	+47億円	± 0億円
メキシコペソ	7.92円	7.35円	8.55円	8.35円	▲0.43円	▲5.1%	+9億円	▲45億円
その他 ※1	—	—	—	—	—	—	+9億円	▲64億円
営業利益為替影響額 合計							+124億円	+50億円

※1 その他…影響額▲64億円のうち、インドネシアルピア▲9億円、台湾ドル▲5億円 ほか

※2 感応度…各通貨のレートが前期実績から 1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

(億円)	通期予想	前期実績	増減
設備投資	4,000	3,215	+ 785
減価償却費	2,000	1,769	+ 231
研究開発費	2,600	2,320	+ 280

※ 設備投資の前期実績はIFRS未集計のため日本基準の数値を記載
※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・予想に含まない
※ 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

項目	日本基準	IFRS	内容
有形固定資産の償却方法	定率償却	定額償却	移行日時点で保有する資産について、取得時まで遡って変更を遡及適用
研究開発費、ソフトウェア取得費の資産化	発生時に費用計上	資産計上後に償却	機種開発分やソフトウェア取得費が対象
一部の金融商品の評価差額	売却時に一括で損益計上	四半期ごとに損益計上	マルチスズキ保有の投資信託の評価差額



@ VITARA



2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年11月8日
スズキ株式会社



将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。